

## 授業改善等に関する報告書（2020年後期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

## [2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
フランス語で学ぶフランス語 b	藤井 陽子	この授業の目的は、「フランス語で学ぶフランス語a」で学んだことを元に、さらなるフランス語の知識を身につけることでした。原則オンデマンド方式だったため、直接皆さんとお話することがほとんどできなかったにもかかわらず、とてもまじめに取り組んでいたと思います。フランスの文化や言語にさらに関心が高まるとうれしいです。
Effective Speaking	リアン, リッキー・チ・ヤン	Dear Students, thanks for your feedback. It was a difficult semester due to the pandemic and online classes are not the easiest to do/take! I will take your advice and try to make improvements for the upcoming academic year.
人間関係の心理学	菅沼 崇	主要な質問項目への肯定的反応（4もしくは5）の比率は、「シラバスとの一致度（96.5%）」「授業のスピード（96.4%）」、「説明の分かりやすさ（98.2%）」、「双方向性の工夫（92.9%）」、「授業資料の分かりやすさ（98.2%）」、「自己成長の実感（92.8%）」、「授業の総合的満足度（100%）」であり、概ね良好であったといえるのかもしれない。自由記述においては、「出席確認が自分でできない方式だったので不安だった」、「毎週、課題があるほうがよかった」などのコメントをいただいたので、今後の課題としたい。
情報リテラシー活用	内田 瑛	本講義ではデータに基づく情報表現を目指し、データに基づく意思決定、深い読みからの問題発見、問題解決のための調査設計と分析、そして報告書とプレゼンテーションの練習を行った。学生間での活発な議論ができ、最終課題もブラッシュアップされて、全体的に大変素晴らしい講義となった。アンケートについては、回答者が極めて少ないため、この結果から講評するのは難しいが、回答いただいた学生についてコメントするのであれば、概ね満足いただき、また十分に成長できたと実感した様子が見取れる。毎回の授業アンケート課題の様子を見ても、他の学生も大きな問題はなかったのではないかと感じている。 本講義での学習成果が卒業研究等に活かされることを期待している。
フランス語 2 b	藤井 陽子	この授業の目的は、基礎的なフランス語の知識を元に、さまざまなテキストを読んで応用をつけることでした。履修学生が1名のため、授業準備が大変だったと思いますが、毎回熱心に取り組んでいたと思います。お疲れさまでした。
情報リテラシー基礎 2	柳田 京子	授業アンケートの【大問Ⅱ 授業内容と方法】【大問Ⅲ 全体について】の集計結果、および【具体的に成長を実感したこと】【自由記述】などから判断して『情報リテラシー基礎1で学んだ内容をより深く、高度に行えるように実践的な課題をこなすことでその理解とスキルアップをすることを目標とする』という、この授業の到達目標は概ね達成できたと思われまふ。  授業の実施方法と当該アンケートに記述された感想・要望について 授業実施方法について 当該科目は、オンデマンド授業ですので、manabaコンテンツで毎回の授業内容・資料・練習問題を提供し、授業内容に対応した課題を出題するという流れで実施しました。授業内容及び課題は本来の授業日の3日前に公開しました。提出課題は確認後、manaba個別指導コレクションに評価表（誤答に対する解説を備考欄に記載）または、得点表を添付して、フィードバックしました。質問方法は、①本来の授業時間にZoomミーティングを開催しての質疑応答、②manaba個別指導コレクションのコメントでの質問・対応、③実践Gメールでの質問・対応、以上3つの方法を用意しました。また、manabaアンケートに自由記入欄を用意し毎回の授業に対する感想や要望に対応しました。 『具体的に成長を実感できた点』『自由記述欄』について（※同様の内容は省略） Excel・Word・PowerPointの使い方の理解が深まった・技術力が身についた・オンデマンド授業だったが、毎週の授業時間にZoomで質疑応答ができてよかった・資料の説明文が分かりやすかった・授業日より前に課題が公開され取り組みやすかった・資料と質問対応で特に問題なく受講できた・資料の説明だけでは理解できない点もあったので双方向も必要だと思った、等の意見が寄せられました。  アンケート結果等を踏まえての改善点 より分かりやすい教材や資料の提供をすること、毎回の課題に対するフィードバックや質問にこれまで以上に迅速な対応をすることを第一に考えて授業を展開していきます。また、授業内容の閲覧状況から、課題のみ提出している受講生の存在が確認できたので、授業内容閲覧・理解の徹底を図る工夫が必要と思われます。そこで、respon等を利用して、前回の授業内容閲覧・理解が確認できる小テストを実施し、課題の提出と合わせて出席確認をすることにします。  今後も、オンデマンド授業に戸惑う学生の不安を少しでも解消し、受講生全員が到達目標を達成できるよう努める所存です。

## [2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ドイツ語1b	田中 亜美	ZOOMによるリアルタイム授業とオンデマンド授業の混合授業となりましたが、皆さんの協力のおかげで大きな支障がなく授業が出来ました。ZOOM授業で通信環境が不安定なときにも、速やかにアドバイスを下さったり、フォローをしたりと、全員参加の「ワンチーム」の精神が発揮されたことがよかったです。これからは対面のコミュニケーションに加えて、オンラインでの交流も増えていくに違いありません。語学力はもとより、こうした思いやりも立派なコミュニケーションスキルになると思います。これからも一緒に頑張っていきましょう。
情報リテラシー活用	粟津 俊二 竹内 光悦	ほとんどの項目が4.0以上、最も低いものでも3.5程度であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます(粟津)。  みなさん、お疲れ様です。結果をみると、好意的な反応だったと思いますので、とりあえずはよかったと思います。自由回答で教員の表情が怖く感じたとありましたが、気にしていませんでしたが、そうでしたか…。次年度も本講義は双方向ですので、意識したいと思います。(竹内)
Business English	リアン, リッキー・チ・ヤン	Dear Students, thanks for your feedback. It was a difficult semester due to the pandemic and online classes are not the easiest to do/take! I will take your advice and try to make improvements for the upcoming academic year.
Global Studies a	中山 誠一	コロナ禍ということで、対面授業が叶わなかったにもかかわらず、履修いただいた学生の皆さんのご協力により、なんとかが最後まで授業を進めることができました。まずはご協力に感謝申し上げます。今後はご指摘いただいた点を踏まえて、授業改善に取り組みたいと思います。
Essential Listening	リアン, リッキー・チ・ヤン	Dear Students, thanks for your feedback. It was a difficult semester due to the pandemic and online classes are not the easiest to do/take! I will take your advice and try to make improvements for the upcoming academic year.
情報リテラシー基礎2	柳田 京子	授業アンケートの【大問Ⅱ 授業内容と方法】【大問Ⅲ全体について】の集計結果、および【具体的に成長を実感したこと】【自由記述】などから判断して『情報リテラシー基礎1で学んだ内容をより深く、高度に行えるように実践的な課題をこなすことでその理解とスキルアップをすることを目標とする』という、この授業の到達目標は概ね達成できたと思われまふ。  授業の実施方法と当該アンケートに記述された感想・要望について 授業実施方法について 当該科目は、オンデマンド授業ですので、manabaコンテンツで毎回の授業内容・資料・練習問題を提供し、授業内容に対応した課題を出題するという流れで実施しました。授業内容及び課題は本来の授業日の3日前に公開しました。提出課題は確認後、manaba個別指導コレクションに評価表（誤答に対する解説を備考欄に記載）または、得点表を添付して、フィードバックしました。質問方法は、①本来の授業時間にZoomミーティングを開催しての質疑応答、②manaba個別指導コレクションのコメントでの質問・対応、③実践Gメールでの質問・対応、以上3つの方法を用意しました。また、manabaアンケートに自由記入欄を用意し毎回の授業に対する感想や要望に対応しました。  『具体的に成長を実感できた点』『自由記述欄』について（※同様の内容は省略） Excel・Word・PowerPointの使い方への理解が深まった・技術が向上した・オンデマンド授業だったが、毎週の授業時間にZoomで質疑応答ができるという仕組みが自分のペースで課題に取り組みやすかった（安心して授業を進められた）・質問への回答、資料や説明が分かりやすかった・あまりやっていたPowerPointの説明をもう少し細かく書いてほしかった、等の意見が寄せられました。  アンケート結果等を踏まえての改善点 より分かりやすい教材や資料の提供をすること、毎回の課題に対するフィードバックや質問にこれまで以上に迅速な対応をすることを第一に考えて授業を展開していきます。また、授業内容の閲覧状況から、課題のみ提出している受講生の存在が確認できたので、授業内容閲覧・理解の徹底を図る工夫が必要と思われます。そこで、respon等を利用して、前回の授業内容閲覧・理解が確認できる小テストを実施し、課題の提出と合わせて出席確認をすることにします。  今後も、オンデマンド授業に戸惑う学生の不安を少しでも解消し、受講生全員が到達目標を達成できるよう努める所存です。

## [2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
人間関係の心理学	菅沼 崇	<p>主要な質問項目への肯定的反応（4もしくは5）の比率は、「シラバスとの一致度（96.1%）」、「授業のスピード（98.1%）」、「説明の分かりやすさ（98.0%）」、「双方向性の工夫（90.2%）」、「授業資料の分かりやすさ（96.1%）」、「自己成長の実感（94.1%）」、「授業の総合的満足度（96.1%）」であり、概ね良好であったといえるのかもしれない。自由記述においては、「先生が説明している姿を見ながら受講することができたため、実際に講義を受けているような気分でもとてもよかったです。他の授業では先生の顔なしで音声のみというものが多かったのでも毎回新鮮で楽しい講義でした。」などのコメントをいただいたので、今後も顔出しを継続していきたい。</p>
日本国憲法	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。</p>
ドイツ語2 b	田中 亜美	<p>すでにドイツへの短期留学を経たレベルでのドイツ語2 bの授業でしたので、ヨーロッパ共通言語枠にそった内容で、日常的な会話を深めて学習することができました。毎回のZOOM授業に大変意欲的に取り組んでもらい、どんどん質問などもしてもらったことで、講師としても、今後のドイツ語のオンライン授業をどのように進めてゆくかという点で、大いに学ばせてもらった気がします。これからも頑張ってください。</p>
生命と環境の倫理	岡部 英男	<p>○今年度は、新型コロナウイルスの流行のため通常の対面式授業ができず遠隔授業になった。やり方としては、Zoomを使った同時双方向型ではなく、オンデマンド方式（資料配信型）を採用した。同時双方向型にしなかったのは、演習のような討論をともなう授業ならば同時双方向型が望ましいであろうが、Zoomでは十分な情報量を提供するのが難しいと思われたからである。この授業は講義でありある程度の情報量を教授する必要があるため、動画ではなく資料配信型にした。動画と授業資料の両方があればさらによかったであろうが、対面式授業と同様の内容をもった授業資料を作成するのにかなりの時間を要したため、動画の作成は割愛せざるを得なかった。十分な準備期間もとれなかったが、そうしたなかで十分とは言えないまでも、例年と同程度の内容は教授できたと思われる。一番シンプルな方式を採用したこともあって大きなトラブルもなかった。学生アンケートでも、学生の77%がオンデマンド型を支持していた。</p> <p>○対面式の定期試験ができなかったため、それに代わって8回の小テストと出席（授業資料の閲覧履歴）で採点した。かなり詳しい授業資料を配信したので、小テストに回答するには、資料を読めば大きな困難はなかったと思うが、授業資料を十分活用していない者も若干見られた。本年は例外的措置とはいえ、対面式ではない遠隔授業は、学生にとってやはり不満を抱くものであったと推察される。</p> <p>○小テストのフィードバックが十分ではなかった点については、反省しなければならないだろう。小テストのフィードバックについては、例年対面式の授業では小テストの解説を次回の授業の始めに前回の授業の復習をかねて行っていたが、遠隔授業となった本年はそれができなかった。メールなどで個別の質問に答えることはでき、manabaで個別にコメントすることもできたが、全員分それを行う時間的余裕はなかった。</p> <p>○授業の難易度については、「十分に理解できた」が20%、「ほぼ理解できた」が50%、「まあまあ理解できた」が24%であった。授業のスピードについては、「適切」が52%、「どちらかといえばあてはまる」が39%であった。授業のわかりやすさについては、「とてもよくあてはまる」が50%、「どちらかといえばあてはまる」が33%であった。資料のわかりやすさについては、「とてもよくあてはまる」が30%、「どちらかといえばあてはまる」が46%であった。授業の満足度については、「とてもよくあてはまる」が43%、「どちらかといえばあてはまる」が50%であった。どの項目についてもほぼ肯定的な回答が得られていると思われるが、いっそうわかりやすい授業を心がけたい。</p> <p>○学生による自由記述の回答がなかったのは残念だが、授業を通じて自分の成長を実感できたかについて、「とてもよくあてはまる」が31%、「どちらかといえばあてはまる」が52%であったので、ほぼ学生の希望に添えていると思われる。</p>
女性と教育	広井 多鶴子 久保 貴子	<p>全体として、出席もよく、課題にもよく取り組んでくれました。評価も総じて満足してもらえたと思います。自由記述を見ると、オンデマンドでも十分学べたという意見が多い印象ですが、フィードバックが欲しかったという意見がありました。140人に毎回というのは難しいのですが、小テストの出し方を工夫するとよかったですと思っています。</p>
アダプテッドスポーツ	島崎 あかね	<p>人数が少なく、対戦形式ができなかった部分もありますが、体験を通じて障がいの有無にかかわらずスポーツを楽しんだり、その障がいを克服しながら技術の向上を図ることができるパラスポーツの意義や重要性を理解してもらえたと思います。パラリンピックもぜひ観戦してほしいと思います。</p>

## [2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
グローバル・キャリアデザイン	深澤 晶久	色々と制約条件が多い中、極めて真摯に取り組んで下さった姿勢に心から感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響で社会も大きく変わりました。これからの時代、そうした変化にいかに対応していくことが出来るか、社会で最も求められる力なのかも知れません。この授業に登壇いただいた方は、いつもおっしゃいます。「実践の学生さんは素直であらゆるものを吸収する力に秀でている」いつも何かを学びご自身を成長させようとしている皆さんの姿には感動しています。いよいよ就職活動に向けて、佳境を迎える学生さんも多いと思います。サポートいたしますので、いつでもご連絡下さい。コロナが落ち着いたら、渋谷キャンパスにもお越しください。研究室が1309に移動しました。お気軽にお立ち寄りください。
ドイツ語で学ぶドイツ語 b	ブラック, ヨーガン	Thank you for your feedback to the survey questions. I will try to improve upon the areas reported in the survey results by working on the weak points and expanding on the strong points.
ドイツ語 2 b	ブラック, ヨーガン	Thank you for your feedback to the survey questions. I will try to improve upon the areas reported in the survey results by working on the weak points and expanding on the strong points.
中国語 1 b	劉 素英	すべての項目に対して真剣でかつ適切に答えてくれて、感謝しています。アンケートを通じていろいろなことが分かり、とても参考になりました。これからも皆さんのご意見を聞きながら授業目標を達成するように努力していきたいと思います。コロナの影響で慣れない授業形式にもかかわらず、勉強によく頑張ってくれました。これからも皆さんと中国語を勉強していくことを楽しみにしています。
日本国憲法	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
身体運動の科学 b	島崎 あかね	オンデマンド型の授業で、動画配信を行わずパワーポイントの資料だけでどのくらい授業内容を理解してもらえるのかとても不安でしたが、アンケートの回答を見ると概ね理解してもらえた様子が窺えるので良かったです。自分の身体や健康・運動に関する知識を身近に捉え、このような状況だからこそ健康的な生活を送るための一助になればと思います。
中国語 1 b	劉 素英	すべての項目に対して真剣でかつ適切に答えてくれて、感謝しています。アンケートを通じていろいろなことが分かり、とても参考になりました。これからも皆さんのご意見を聞きながら授業目標を達成するように努力していきたいと思います。コロナの影響で慣れない授業形式にもかかわらず、勉強によく頑張ってくれました。これからも皆さんと中国語を勉強していくことを楽しみにしています。
数学的思考	渡辺 敏	概ねよい評価を頂いたようですが、より数学の問題を解くことが楽しめるよう授業改善に努めます。
食文化論	荒尾 美代	パワーポイントを使ったオンデマンド授業でしたが、理解度はほぼ良好で、一生つきあっていく「食」に対して「文化面」から興味を持ってもらえ、授業の目的は達していたと考えます。「食文化」には、「歴史」が常についてまわっていることを、もう少し丁寧に説明した方が良かったかなと感じています。
実践教養講座 e	椎原 伸博 稲垣 伸一 広井 多鶴子 佐々木 真理 河野 龍也	7-8-9回担当の椎原です。コロナ禍のオンデマンド授業は、映像をどのように提示するか苦労しました。そのなかで、皆さん熱心に学んでいただきありがとうございます。レスポンスを用いたコメントでは、熱心な書き込みも多く感心しました。また、レスポンスの出欠についてのクレームコメントについては、7回目の授業で混乱させてことが大きかったと思います。その点については、お詫びいたします。みなさんよく課題に取り組んでくれました。ドロップアウト率も対面授業より少なく、その点で、オンデマンド授業の利点があると思います。方法を統一して欲しいという意見があったので、この点について次年度に向けて、検討したいと思います（広井）。
基礎スポーツ実習 a	島崎 あかね	渋谷キャンパス開講の数少ない対面授業であったため、この授業が唯一登校する機会だという人が多かったと思いますが、出席率もよく積極的に実技に取り組んでもらえたことが良かったです。実技を通して他者との直接的な関わり合いや身体を動かすことの重要性を感じることができと思うので、今後の日常生活にも活かしてもらえたらと思います。

## [2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
くらしの化学	山崎 壮, 加藤木 秀章	<p>[加藤木] 化学をもとにした繊維は身近なところにいっぱいあります。予習復習で使われているものをより調べてみると、学習に効果的です。</p> <p>[山崎] まず、Zoom接続のトラブルを何回も起こしてしまったことをお詫びします。この科目は日常生活の中の化学に興味を持ってもらうことをめざしており、化学の教科書的知識を暗記することをめざしていませんでしたが、履修者には理解されたようでよかったです。特に、化粧品企業2社の方の講義は毎年好評なので、今後も続けたいです。 期末課題レポートの採点基準を事前に公表していましたが、レポート採点で感じた注意事項を書き加えて、優れた論述レポートを書くときのポイントをまとめた文書にしました。それと優秀レポートをmanabaコンテンツに掲載しましたので、参考にしてください。</p>
生命と環境の倫理	岡部 英男	<p>○今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行のため通常の対面式授業ができず遠隔授業になった。やり方としては、Zoomを使った同時双方向型ではなく、オンデマンド方式（資料配信式）を採用した。同時双方向型にできなかったのは、演習のような討論をともなう授業ならば同時双方向型が望ましいであろうが、Zoomでは十分な情報量を提供するのが難しい思われたからである。この授業は講義でありある程度の情報量を教授する必要があるため、動画ではなく資料配信型にした。動画と授業資料の両方があればさらによかったであろうが、対面式授業と同様の内容をもった授業資料を作成するのにかなりの時間を要したため、動画の作成は割愛せざるを得なかった。十分な準備期間もとれなかったが、そうしたなかで十分とは言えないまでも例年と同程度の内容は教授できたと思われる。一番シンプルな方式を採用したこともあって大きなトラブルもなかった。学生アンケートでも、学生の82%がオンデマンド型を支持していた。 ○対面式の定期試験が実施できなかったため、それに代わって8回の小テストと出席（授業資料の閲覧履歴）で採点した。かなり詳しい授業資料を配信したので、小テストに回答するには、資料を読めば大きな困難はなかったと思うが、授業資料を十分活用していない者も若干見られた。本年は例外的措置とはいえ、対面式ではない遠隔授業は、学生にとってやはり不満を抱くものであったと推察される。 ○小テストのフィードバックが十分ではなかった点については、反省しなければならないだろう。小テストのフィードバックについては、例年対面式の授業では小テストの解説を次回の授業の始めに前回の授業の復習をかねて行っていたが、遠隔授業となった本年はそれができなかった。メールなどで個別の質問に答えることはできたと、manabaで個別にコメントすることもできたが、全員分それを行う時間的余裕はなかった。 ○授業の難易度については、「ほぼ理解できた」が53%、「まあまあ理解できた」が47%であった。授業のスピードについては、「適切」が47%、「どちらかといえばあてはまる」が47%であった。授業のわかりやすさについては、「とてもよくあてはまる」が33%、「どちらかといえばあてはまる」が47%であった。資料のわかりやすさについては、「とてもよくあてはまる」が20%、「どちらかといえばあてはまる」が60%であった。授業の満足度については、「とてもよくあてはまる」が20%、「どちらかといえばあてはまる」が73%であった。どの項目についてもほぼ肯定的な回答が得られていると思われるが、いっそうわかりやすい授業を心がけたい。 ○学生による自由記述の回答がなかったのは残念だが、授業を通じて自分の成長を実感できたかについて、「とてもよくあてはまる」が20%、「どちらかといえばあてはまる」が67%であったので、ほぼ学生の希望に添えていると思われる。</p>
中国語 2 b	劉 素英	<p>すべての項目に対して真剣かつ適切に答えてくれて、感謝しています。アンケートを通じていろいろなことが分かり、とても参考になりました。これからも皆さんのご意見を聞きながら授業目標を達成するよう努力していきたいと思います。 これからも引き続き中国語の勉強に頑張ってください。</p>
身体運動の科学 b	佐藤 健	<p>初めての授業運営方法どうでしたか？ 前期より少しは上手になっていればと願っています。 今後の皆さんの活躍にきたいしています。</p>

[2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
オープン講座 b	下山 肇	<p>「自分以外の人たちと協働して成果をつくる」という経験は、デザイン行為に限らず今後さまざまな場面において必要となるが、なかなか経験することができないが、今回の受講によって履修者全てが体感できたようである。一方で多世代交流のツール開発という大きなテーマに対して答えを出すには少し時間が足りなかった。また、各人が開発に集中するあまり、授業前半に行った「なぜ行うのか？」という動機付けが浸透しなかった。しかし授業外ではあったが、当事者や、共同開発者とのプレゼンテーションに参加することができ、その意義や価値について十分理解出来たのではないかと思う。今後は短い授業時間の中で「成果物の完成」ではなく「方法論の確立」までを目指したいと思う。</p>
くらしの化学	菅野 元行	<p>履修生29名中10名の回答に留まり（回答率34%）、総合的な満足度が4.50（5.00が最高点）となりました。オンデマンド授業となり、昨年度よりも授業内容、資料・音声ともに工夫し充実できましたが、回答率（昨年度45%）、総合的な満足度（昨年度4.85、一昨年度4.73）ともに減少し残念に思います。全ての回がオンデマンドとされてしまったため履修学生との接点が皆無であったことが主因としか考えられません。個人的には初回だけは教室で行いたかったのですが、大学の取り決めでしたので仕方ありません。回答していただいた方々と、自由記述欄に記載していただいた方々に御礼申し上げます。自由記述をすべて掲載します。「今まで知らなかったことや生活に関わることを深く知ることが出来たので良かったです。」「化学は苦手だったが、身の回りの化学について以前よりも興味を持つようになった。」「身の回りの食品・物質の化学的特徴が理解できた。（2名）」「化学についての理解が深まった。」「暮らしに関わる化学について、理解することができた。自分の周りにはたくさんの化学が存在していて、様々な分子があるということが分かった。」「授業でならったことが生かせる場も多いと思ったので、受けてよかったなと思いました。」「久しぶりに化学を学び楽しかったです。」以上の皆さんには的確なコメントをお書きいただき、御礼申し上げます。</p> <p>一方、以下のコメントについては首を傾げざるを得ないため、正しい事実を説明させていただきます。 「オンデマンド型の場合は、授業資料や授業音声の公開時間をなるべく早めに設定してほしいと感じました。」 「毎回の授業開始時間に授業資料も授業音声も公開し、毎回の課題の提出に二週間の猶予がありましたが、それでも「早めに設定してほしい」とはどういうことでしょうか？ 私自身は毎回、懸命に準備しています。毎回の課題の際にも質問・コメント欄を設けていましたが、このようなコメントが届いたことはありません。授業アンケートは正しく記述するようにして下さい。」</p>
日本の古典文学	上野 英子	<p>非常勤先では前期からインターネット授業を経験していましたが、本学では後期から初めて開始し、しかも方式が全く異なっていましたので、正直かなり慌てました。共有を何度も失敗して、皆さんに多大なご迷惑をおかけしてしまったこと、改めてお詫びいたします。でも毎回、皆さんから寄せられた簡易レポートは力作が多く、拝読するのがとても楽しみでした。アンケートの回答率は半数に届きませんでした。多くの方が「満足した」「この分野をもっと勉強してみたいと思った」と答えくださったことは本当に嬉しく思いました。私自身の自己課題としては、皆さんから寄せられたレポートをもっと上手に活用して、ディスカッションへと展開できないかということです。ともあれ、お互い大変な1年でしたね。お疲れ様でした。</p>
メディア論	河井 延晃	<p>2020年度のメディア論は、コロナ禍において大学より一律「オンデマンド授業」として開講しました。そのうえで、アンケート（5尺度）を踏まえて、改善や対応について回答します。</p> <p>大項目Ⅰの「あなた自身について」の項目をみたところ、「4、授業の理解度」が74.8（全体平均79.5）となっており、やや低いといえます。また、大項目Ⅱのなかで特に低い項目をみると、「8、双方向授業の工夫」が3.55となります。この授業はオンデマンドが中心ですが、課題の遅延提出などのサポートはメールや学生掲示板など個別対応をおこなってまいりました。この点は、授業開講時に斉一的に対応を告知しておくことで、混乱や課題提出の不公平感がなかったかと思えます。また、初期は当日中の出席をレスポンスとっていましたが、後半のように一定期間の幅を設けて出席（授業週での出欠確認）をおこなうなど、オンデマンドを有効に活用しておくことなども改善できる点になると思えます。特にこの点（オンデマンドでの出席の取り扱い）は、私自身は「当初のシラバス準拠」を優先しましたが、非常に煩雑になり改善すべきと考えていました。また、予習復習時間は、1.69h（全体平均1.20）となっておりますが、テキスト以外の資料はやや多かったのかもしれませんが、対応としては2、3割ほど配布資料の分量を減らして教科書との接点を密に進めてゆくことが考えられます。（授業内容のシラバスとの一致項目については4.03となっております。）</p> <p>コロナ禍での授業運用は今後も続くことが想定されますが、オンデマンドという枠の中でも改善を行ってゆきたいと考えます。</p>



[2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報リテラシー基礎2	久保 ちづる	<p>一部授業が対面授業となった中、情報リテラシー基礎2はオンデマンド授業で実施されましたが、前期の経験もあり大きな混乱もなく授業を終えることができました。</p> <p>授業アンケートの集計結果（提出率60%）をもとに振り返ってみたいと思います。</p> <p>「Ⅰ. あなた自身について」では「週あたり105分（2019年度の対面授業では担当4クラスの平均が61.8分 以下同様）の予習復習をした」、「授業の理解度は83.8%（78.8%）でほぼ理解できた」でした。皆さんのクラスのアンケート回答率は60%であり、2019年度の4クラス平均84.7%のデータと比較するのは無謀かもしれませんが、今回のオンデマンド授業の方が昨年の対面授業よりも学修時間は増え、理解度も上がったということになります。</p> <p>「Ⅱ. この授業の内容と方法について」の「シラバスの内容と一致」・「授業スピード」・「説明のわかりやすさ」についてはほぼ平均値で、担当した他のクラスと比較して低めでした。要因として、Mac利用者が12名、iPad利用者が1名で全体の32.5%を占めていたことが考えられます。また、manabaコンテンツ「授業内容」の閲覧率が低かったことも一因と思われます。毎回の授業内容や学習用資料&amp;ファイルを提供しているmanabaコンテンツ「授業内容」の閲覧状況が平均85.2%、閲覧率70%未満が5人（12.5%）でした。閲覧しなかった場合は、その回の課題がシラバスのどの部分にあたるどの内容なのかを理解しないまま、しかも用意された教材を確認せず（学ばず）に直接提出課題に取り組んだこととなります。</p> <p>「Ⅲ. 全体について」では「この授業を通して自身の成長を感じた」が95.9%、「総合的に判断してこの授業に満足した」が91.7%であったことから、皆さんが“積極的に課題に取り組み、自身の成長を実感して満足した”ことが分かりました。</p> <p>「12. 具体的に成長を実感したことについて記入してください。」には「Excel、Word、PowerPointすべての能力を向上させることができた。」、「Officeが使いこなせるようになりたかったためいい学びとなった。より多く学びたいと感じた。」、「わからないところがどう何が分からないのかを明確にできるようになった。インターネットや先生の力を借りながらも自分でやりきるという力がついた。何とか自分でやろう、試行錯誤してすべてをやりきるという習慣も身についた。」などの記述（原文ママ）があり、皆さんの成長の様子がうかがえます。</p> <p>自由記述欄に「あまりにも難しかった。」基礎”とついてあるものの、応用の範囲内ではないかと疑うくらいには難しすぎる部分があった。」という記述がありましたが、課題に取り組む前にmanabaコンテンツ授業内容の添付教材で学ぶことで理解していただけたのではないかと思います。その他に「配布資料がとてもわかりやすかったです。」、「課題に対する指示も明確でやりやすかった。また課題評価もどこが違うのかしっかり書かれていて理解しやすかった。ブラインドタッチのサイトなども教えてくれて非常によかったです。」という記述がありました。</p> <p>「第15回授業アンケート」（22名提出）で課題の質や量について感想や意見を求めたところ、「課題自体は多く感じなかったのですが一個一個に時間がかかるので重く感じました。」という記述もありましたが、大多数が「適量である、適切であった」ということでした。そのほかにもzoomミーティングを利用した質問対応やタイピング練習の効果などについて多くの感想をいただきました。</p> <p>授業アンケートの集計結果と授業内の最終アンケート結果から、皆さんが「学ぶ楽しみを知り、生涯にわたり学問を続ける基礎力を養う【研鑽力】」と「現状を正しく把握し、課題を発見できる【行動力】の基礎を修得する」という科目の到達目標を達成したと言えます。次年度のオンデマンド授業も基本的に今年度の方法で進められそうですが、改善点も見えてきました。一つは、オンデマンド授業においても受講生全員がWindowsパソコン+Office2019（またはOffice365）の環境で学べる体制を作ること、もう一つは毎回の授業をmanabaコンテンツ「授業内容」を読むことからスタートする、読まなければスタートできないことを周知させるとともに閲覧状況を把握しながら未閲覧者を指導していくことです。</p> <p>※MacやiPad、あるいはWindowsパソコンでも旧バージョンのOfficeを使用したために確認できなかった機能や操作があった方は、大学内のパソコンで試してください。</p>

[2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報リテラシー基礎2	久保 ちづる	<p>一部授業が対面授業となった中、情報リテラシー基礎2はオンデマンド授業で実施されましたが、前期の経験もあり大きな混乱もなく授業を終えることができました。</p> <p>授業アンケートの集計結果（提出率46.4%）をもとに振り返ってみたいと思います。</p> <p>「Ⅰ. あなた自身について」では「週あたり103.8分（2019年度の対面授業では担当4クラスの平均が61.8分 以下同様）の予習復習をした」、「授業の理解度は89.6%（78.8%）でほぼ理解できた」でした。皆さんのクラスのアンケート回答率は46.4%であり、2019年度の4クラス平均84.7%のデータと比較するのは無謀かもしれませんが、今回のオンデマンド授業の方が昨年の対面授業よりも学修時間は増え、理解度も上がったということになります。</p> <p>「Ⅱ. この授業の内容と方法について」では、すべての項目に高評価をいただくことができました。</p> <p>「Ⅲ. 全体について」では「この授業を通して自身の成長を感じた」、「総合的に判断してこの授業に満足した」とともに100%であったことから、皆さんが「積極的に課題に取り組み、自身の成長を実感して満足した」ことが分かりました。</p> <p>「12. 具体的に成長を実感したことについて記入してください。」には「Word、Excel、PowerPointなどを上手く使いこなせるようになった。」、「文字を打ち込むスピードが速くなりました。また、一番不安があったExcelも徐々に使い方を理解することができるようになりました。」、「苦手意識のあったPC操作でしたが、楽しくできました。」などの記述（原文ママ）自由記述欄には「情報は得意ではないので不安でしたが、資料やフィードバックがとても分かりやすかったので課題も安心して取り組むことが出来ました。」、「授業のスピードが適切で、説明もわかりやすかった。」、「わからないところなどを丁寧に説明してくれたので凄くわかりやすかったです。」という記述がありました。</p> <p>「第15回授業アンケート」（17名提出）で課題の質や量について感想や意見を求めたところ、「パソコンがあまり得意ではない自分にとっては、課題が少し重く感じる週もあったものの、課題のフィードバックを丁寧にしていたので、安心して授業を受けることができました。」という記述もありましたが、大多数が「適量である、適切であった」ということでした。そのほかにもフィードバックの方法やzoomミーティングを利用した質問対応について理解につながったというコメントをいただきました。また、「…欲を言えば、授業資料だけでなく、授業動画もあるとスムーズに取り組みすると思えました。」というコメントをいただきました。今年は関数の分かりづらい項目については動画を用意できましたが、次年度はさらに増やしてみようと思います。</p> <p>授業アンケートの集計結果と授業内の最終アンケート結果から、皆さんが「学ぶ楽しみを知り、生涯にわたり学問を続ける基礎力を養う【研鑽力】」と「現状を正しく把握し、課題を発見できる【行動力】の基礎を修得する」という科目の到達目標を達成したと言えます。次年度のオンデマンド授業も基本的に今年度の方法で進められそうですが、改善点も見えてきました。一つは、オンデマンド授業においても受講生全員がWindows/パソコン+Office2019（またはOffice365）の環境で学べる体制を作ること、もう一つは解説動画を充実させることです。</p> <p>※Mac、あるいはWindows/パソコンでも旧バージョンのOfficeを使用したために確認できなかった機能や操作があった方は、大学内のパソコンで試してください。</p>
くらしの人間工学	佐藤 健	<p>初めての授業運営どうでしたか？ コミュニケーションって難しいですね。くらしの人間工学の大半は、仕事、労働なので、働くことを前提にした語り掛けが少しでも理解されればいいと期待してます。</p>
食文化論	荒尾 美代	<p>パワーポイントを使ったオンデマンド授業でしたが、理解度はほぼ良好で、一生つきあっていく「食」に対して「文化面」から興味を持ってもらえ、授業の目的は達していたと考えます。「食文化」には、「歴史」が常についてまわっていることを、もう少し丁寧に説明した方が良かったかなと感じています。</p>
ドイツ語1 b	ブラック, ヨーガン	<p>Thank you for your feedback to the survey questions. I will try to improve upon the areas reported in the survey results by working on the weak points and expanding on the strong points.</p>
情報リテラシー応用 c	池田 徳正	<p>過去の年度と比べて、レポートの完成度が非常に高く驚かされました。リモート授業の影響で、他の先生に多くのレポート課題を出していただいているおかげではないかと思いましたが、どうでしょうか。</p> <p>本年から、試行的ながら機械学習の実習を入れたことで、授業全体のコンセプトが明確になり、学生からのフィードバックもポジティブなものが多くなったと感じました。</p> <p>学問的な内容とビジネス的な内容の両方を見据えた授業であり、他の授業とは違う切り口の内容だったと思いますが、授業で学んだことを、仕事や研究の中で活かしてもらえると幸いです。</p>

## [2020 (後期) 大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Global Studies d	松島 照彦 山崎 壮 於保 祐子	少人数でのZoom授業で密度の高い学修ができたと思います。「聞き取って口に出して覚える」という語学学習の基本にZoom授業は適していると思います。栄養学分野の英語力アップにお役にたてれば幸いです(於保)。
フランス語で学ぶフランス語 b	藤井 陽子	この授業の目的は、「フランス語で学ぶフランス語a」で学んだ知識を元に、さらなるフランス語力を身につけることでした。原則オンデマンド方式で実施したため、発音練習やグループ練習がほとんどできず、物足りなさを感じた学生もいると思いますが、皆さんとても真剣に取り組んでいました。今後、オンライン授業になる場合はライブ授業を取り入れた発音練習をもう少し増やすことを考えています。
東洋思想入門	田中 靖彦	例年は講義形式で行う授業であるため、オンデマンド形式での実施は不安もありましたが、非常に高い評価をいただき、誠にありがとうございます。対面授業の実施が叶わなかったことは非常に残念ですが、本授業の教材は予想外に好評をいただきまして、とてもうれしいです。多くの方が真剣に授業に取り組んでくださったことに、衷心より感謝申し上げます。
法学入門	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
基礎スポーツ実習 b	島崎 あかね	外種目を中心とした実技を3種目実施しましたが、基本的な技術の習得ができ簡単なゲームができるようになったと思いますので、生涯スポーツの1つとして継続的に実施してもらえたらと思います。準備体操や説明の際に、きちんと実施していなかったり友達同士で話をしていた聞いていなかった人たちがいたのは残念でした。楽しく授業を行うのと友達同士で遊ぶのは違う、というメリハリをつけて授業に参加してほしいです。
情報リテラシー基礎2	久保 ちづる	<p>一部授業が対面授業となった中、情報リテラシー基礎2はオンデマンド授業で実施されましたが、前期の経験もあり大きな混乱もなく授業を終えることができました。</p> <p>授業アンケートの集計結果(提出率43.6%)をもとに振り返ってみます。</p> <p>「Ⅰ. あなた自身について」では「週あたり93.6分(2019年度の対面授業では担当4クラスの平均が61.8分 以下同様)の予習復習をした」、「授業の理解度は81.8%(78.8%)でほぼ理解できた」でした。皆さんのクラスのアンケート回答率は43.6%であり、2019年度の4クラス平均84.7%のデータと比較するのは無謀かもしれませんが、今回のオンデマンド授業の方が昨年の対面授業よりも学修時間は増え、理解度も上がったということになります。</p> <p>「Ⅱ. この授業の内容と方法について」では、すべての項目に高評価をいただくことができました。</p> <p>「Ⅲ. 全体について」では「この授業を通して自身の成長を感じた」が100%、「総合的に判断してこの授業に満足した」が88.2%であったことから、皆さんが「積極的に課題に取り組み、自身の成長を実感して満足した」ことが分かりました。</p> <p>「12. 具体的に成長を実感したことについて記入してください。」には「Word、Excel、PowerPointの基本的な操作が理解できた。」、「WordやExcelの使い方の理解が深まった。」、「基礎1の応用で、操作や効率化についての理解が深まった。」などの記述(原文ママ)があり、自由記述欄には「パソコンの苦手意識を払拭できてよかったです。」、「ずっと使える知識をたくさん教えてもらい、忘れぬようレポート作りで実践していきたい。」、「オンデマンド型でも十分に理解できていると実感できるような授業であった。」という記述がありました。皆さんの成長の様子がうかがえます。また、授業内の最終アンケートには「(略) 授業内では例題を用いて知識を学び、それを課題でアウトプットするというやり方は、自分で考えて実際にやってみるという行動をすることから、やっけて知識が身につけていると実感でき、とても良いやり方であると思った。(略)」という記述もありました。</p> <p>「第15回授業アンケート」(23名提出)で課題の質や量について感想や意見を求めたところ、「課題の量は少し多いと感じる部分や、大変だと感じた部分はありましたが、自分が今までに知らなかったコンピューターの技術を多く得ることができ、非常にためになりました。」という記述もありましたが、大多数が「適量である、適切であった」ということでした。そのほかにもフィードバックの方法やzoomミーティングを利用した質問対応について理解につながったというコメントをいただきました。</p> <p>授業アンケートの集計結果と授業内の最終アンケート結果から、皆さんが「学ぶ楽しみを知り、生涯にわたり学問を続ける基礎力を養う【研鑽力】」と「現状を正しく把握し、課題を発見できる【行動力】の基礎を修得する」という科目の到達目標を達成したと言えます。次年度のオンデマンド授業も基本的に今年度の方法で進められそうですが、改善点も見えてきました。それは、オンデマンド授業においても受講生全員がWindows/パソコン+Office2019(またはOffice365)の環境で学べる体制を作ることです。</p> <p>※Mac、あるいはWindows/パソコンでも旧バージョンのOfficeを使用されたために確認できなかった機能や操作があった方は、大学内のパソコンで試してください。</p>

[2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報リテラシー基礎2	柳田 京子	<p>授業アンケートの【大問Ⅱ授業内容与方法】【大問Ⅲ全体について】の集計結果、および【具体的に成長を実感したこと】【自由記述】などから判断して『情報リテラシー基礎1で学んだ内容をより深く、高度に行えるように実践的な課題をこなすことでその理解とスキルアップをすることを目標とする』という、この授業の到達目標は概ね達成できたと思われま。</p> <p>授業の実施方法と当該アンケートに記述された感想・要望について 授業実施方法について 当該科目は、オンデマンド授業ですので、manabaコンテンツで毎回の授業内容・資料・練習問題を提供し、授業内容に対応した課題を出題するという流れで実施しました。授業内容及び課題は本来の授業日の3日前に公開しました。提出課題は確認後、manaba個別指導コレクションに評価表（誤答に対する解説を備考欄に記載）または、得点表を添付して、フィードバックしました。質問方法は、①本来の授業時間にZoomミーティングを開催しての質疑応答、②manaba個別指導コレクションのコメントでの質問・対応、③実践Gメールでの質問・対応、以上3つの方法を用意しました。また、manabaアンケートに自由記入欄を用意し毎回の授業に対する感想や要望に対応しました。</p> <p>『具体的に成長を実感できた点』『自由記述欄』について（※同様の内容は省略） Excel・Word・PowerPointの使い方への理解が深まった・活用する力が身についた・レポートなどで使用する機能が使えるようになった・毎週の授業時間にZoomで質問できて心強かった・Zoomでの質疑応答の解説がmanabaコンテンツで共有されて理解しやすかった・授業内容の資料が分かりやすく、教科書を読みながら理解して（楽しみながら）課題に取り組めた・課題ごとに個別で送られてくる評価表でできない箇所が明確になり、その評価がモチベーションになった、等の意見が寄せられました。</p> <p>アンケート結果等を踏まえての改善点 より分かりやすい教材や資料の提供をすること、毎回の課題に対するフィードバックや質問にこれまで以上に迅速な対応をすることを第一に考えて授業を展開していきます。また、授業内容の閲覧状況から、課題のみ提出している受講生の存在が確認できたので、授業内容閲覧・理解の徹底を図る工夫が必要と思われます。そこで、respon等を利用して、前回の授業内容閲覧・理解が確認できる小テストを実施し、課題の提出と合わせて出席確認をすることにします。</p> <p>今後も、オンデマンド授業に戸惑う学生の不安を少しでも解消し、受講生全員が到達目標を達成できるよう努める所存です。</p>
情報リテラシー応用b	河野 康成	<p>この1年間、多くの授業で、遠隔である上に、Zoomやmanabaという慣れない環境で大変だったことと思います。この経験は何らかの形で将来の糧となるはずで。</p> <p>この授業については、オンデマンド中心（発表・試験だけZoom）という授業形態でしたが、パソコン操作だけに限ると、オンデマンドだけではなく、双方向や対面を取り入れた方が良く考えている人も多く見受けられます。実際に、対面、双方向、オンデマンドの順で、操作性の効果は高いと思われます。前期の同科目は、全双方向でしたが、この授業内容がWord、Excel、PowerPointの操作が中心のため、操作レベルでは、前期の方が高い結果となりました。しかしながら、パソコン教室とは異なり、大学の授業では、操作以上に、将来のために、考える力が必要となります。その意味においては、対面や双方向よりオンデマンドの方が身に着きます。また、質問については、通常だと、教員に直接もしくは一緒に受講しているご友人にできるため容易に解決できます。しかし、この授業では、メールやmanabaなど、普段使っているLINEでないため厳しかったかもしれません。メールは、社会人になったことを想定すると、役に立ちます。</p> <p>説明不足については、全大学で同じことを言われています。優しく丁寧に解説すれば、授業評価と同時に、学生の満足度も上がりますが、学生のためにはならないとの信念を持っています。大学では、受動的ではなく、能動的に勉学に携わってほしい気持ちがあります。それには、少しハードルが高く、それを乗り越える力を備えてほしいと期待しています。</p>

[2020 (後期) 大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報リテラシー基礎2	久保 ちづる	<p>一部授業が対面授業となった中、情報リテラシー基礎2はオンデマンド授業で実施されましたが、前期の経験もあり大きな混乱もなく授業を終えることができました。</p> <p>授業アンケートの集計結果（提出率35%）をもとに振り返ってみたいと思います。</p> <p>「Ⅰ. あなた自身について」では「週あたり98.4分（2019年度の対面授業では担当4クラスの平均が61.8分 以下同様）の予習復習をした」、「授業の理解度は78.9%（78.8%）でほぼ理解できた」でした。皆さんのクラスのアンケート回答率は35%であり、2019年度の4クラス平均84.7%のデータと比較するのは無謀かもしれませんが、今回のオンデマンド授業の方が昨年の対面授業よりも学修時間は増え、昨年の対面授業と同程度理解することができたということになります。</p> <p>「Ⅱ. この授業の内容と方法について」の「授業スピード」・「説明のわかりやすさ」・「配布資料のわかりやすさ」は平均値以下で、担当した他のクラスと比較して低い値でした。この要因として、manabaコンテンツ「授業内容」の閲覧率が低かったことが考えられます。毎回の授業内容や学習用資料&amp;ファイルを提供しているmanabaコンテンツ「授業内容」の閲覧状況を確認した結果、平均86.8%で、授業15回分のうち『1回分も閲覧していない』が1人、『2回分を閲覧した』が2人、『6回分を閲覧した』が1人、『9回分を閲覧した』が2人でした。閲覧しなかった場合は、用意された教材を確認せず（学ばず）に直接提出課題に取り組んだこととなります。</p> <p>「Ⅲ. 全体について」では「この授業を通して自身の成長を感じた」が92.8%、「総合的に判断してこの授業に満足した」が92.9%であったことから、皆さんが「積極的に課題に取り組み、自身の成長を実感して満足した」ことが分かりました。</p> <p>「12. 具体的に成長を実感したことについて記入してください。」には「ワード・エクセル・パワーポイントの操作方法がしっかりと身についた。」、「そもそもWordやExcelやPowerPointは『入力したこと』がある程度のものであったので、それぞれどういう使い方ができて役立つのかということを知ることができた。課題の前に練習として1つ1つ実際に使用しながら学べたので、その後こういうこと出来た等・・・と機能を思い出すようになった。」、「Word、excel等の知識がダイレクトに身についた実感がある」などの記述（原文ママ）があり皆さんの成長の様子がうかがえます。</p> <p>自由記述欄には「毎時間の課題が適切な量で良かった。」、「オンラインになったことでどうしても理解できない時は途方にくれる時もあったけれど、個人指導を開講してくださっていて質問がとてもしやすかったので、自分のペースで学んで行けたと思います。その点提出期限ぎりぎりになって手を付けるような時もあったのですが、2週間ほどの長い提出期間を設けてくださったのでレジュメをよく読まずボロボロのまま提出ということもなく、しっかりと内容を理解して課題に取り組むことができました。」という記述がありました。また、「毎回毎回Excelの課題を追い込まれながら終わらした記憶がなく、結構大変だった。やり方をもう少しちゃんと聞けると出来るようになるのかなと思うので、対面で授業をやりたいなと思った。」という記述もありました。早く対面授業ができるようになるとういことです。</p> <p>「第15回授業アンケート」（22名提出）で課題の質や量について感想や意見を求めたところ、課題については「適量である、適切であった」が半数程度であった一方、「パソコンが苦手で1人で課題に取り組むのがとても大変でした」、「Excelを使う課題がとても難しく苦労した」、「教科書（参考書）を見ながら作業をして、それでも難しいと感じるときが何度かありました…」、「少し頑張ればできる量に設定されていたので無理なくできました」などのように限界すれすれであったという感想もありました。そのほかにも、フィードバックの方法やzoomミーティングを利用した質問対応について充実した授業につながったというコメントや、「パワーポイントを使用して、プレゼンをする機会はあったが、ここまで伝わりやすさのポイントなどを考えて作ったことはなかったので、少しの意識で大きく変わることが実感できた。」という感想もいただきました。</p> <p>授業アンケートの集計結果と授業内の最終アンケート結果から、皆さんが「学ぶ楽しみを知り、生涯にわたり学問を続ける基礎力を養う【研鑽力】」と「現状を正しく把握し、課題を発見できる【行動力】の基礎を修得する」という科目の到達目標を達成したと言えます。次年度のオンデマンド授業も基本的に今年度の方法で進められそうですが、改善点も見えてきました。一つは、オンデマンド授業においても受講生全員がWindows/パソコン+Office2019（またはOffice365）の環境で学べる体制を作ること、もう一つは毎回の授業をmanabaコンテンツ「授業内容」を読むことからスタートする、読まなければスタートできないことを周知させるとともに閲覧状況を把握しながら未閲覧者を指導していくことです。</p> <p>※Mac、あるいはWindows/パソコンでも旧バージョンのOfficeを使用されたために確認できなかった機能や操作があった方は、大学内のパソコンで試してください。</p>

[2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
情報リテラシー基礎2	柳田 京子	<p>授業アンケートの【大問Ⅱ授業内容与方法】【大問Ⅲ全体について】の集計結果、および【具体的に成長を実感したこと】【自由記述】などから判断して『情報リテラシー基礎1で学んだ内容をより深く、高度に行えるように実践な課題をこなすことでその理解とスキルアップをすることを目標とする』という、この授業の到達目標は概ね達成できたと思われま。</p> <p>授業の実施方法と当該アンケートに記述された感想・要望について 授業実施方法について 当該科目は、オンデマンド授業ですので、manabaコンテンツで毎回の授業内容・資料・練習問題を提供し、授業内容に対応した課題を出題するという流れで実施しました。授業内容及び課題は本来の授業日の3日前に公開しました。提出課題は確認後、manaba個別指導コレクションに評価表（誤答に対する解説を備考欄に記載）または、得点表を添付して、フィードバックしました。質問方法は、①本来の授業時間にZoomミーティングを開催しての質疑応答、②manaba個別指導コレクションのコメントでの質問・対応、③実践Gメールでの質問・対応、以上3つの方法を用意しました。また、manabaアンケートに自由記入欄を用意し毎回の授業に対する感想や要望に対応しました。</p> <p>『具体的に成長を実感できた点』『自由記述欄』について（※同様の内容は省略） 基本オンデマンドで大丈夫だが、毎週の授業時間にZoomで質疑応答ができ、質問しやすく分かりやすかった・この授業の方法がよいと思った・将来確実に役立つ知識や技術を得られてよかった・個別指導コレクションの質問対応が早く丁寧だった・授業内容の資料が分かりやすかった・分からないものを自分一人やZoomで理解するのは無理、対面授業の方が、分からないものをそのままにしない・Macを使用していたため、指示がMacに対応していない部分があった 等の意見が寄せられました。</p> <p>アンケート結果等を踏まえての改善点 より分かりやすい教材や資料の提供をすること、毎回の課題に対するフィードバックや質問にこれまで以上に迅速な対応をすることを第一に考えて授業を展開していきます。また、授業内容の閲覧状況から、課題のみ提出している受講生の存在が確認できたので、授業内容閲覧・理解の徹底を図る工夫が必要と思われま。そこで、respon等を利用して、前回の授業内容閲覧・理解が確認できる小テストを実施し、課題の提出と合わせて出席確認をすることにします。</p> <p>今後も、オンデマンド授業に戸惑う学生の不安を少しでも解消し、受講生全員が到達目標を達成できるよう努める所存です。</p>
心の健康	佐藤 恵美	<p>皆さん、こんにちは。 今年度は前後期ともにオンデマンドになってしまい、私自身も皆さんにお会いできず本当にさみしい授業でした。</p> <p>アンケート拝見したところ、皆さんが資料がわかりやすい、もっとこの分野を勉強したいと回答してくださり、本当にうれしかったです。 心理系は医学、福祉などの知識が入るため専門用語が多く、大変だったと思いますが、小テストやレポートを見ても理解力が少しずつ上がってきているのを見て嬉しい限りです。 今後もニュースや人生のライフイベント（子育て、介護、就職など）で、この授業の知識がお役に立てると良いです。 この授業を受講してくださり、ありがとうございました。</p>
統計的思考	河野 康成	<p>この1年間、多くの授業で、遠隔である上に、Zoomやmanabaという慣れない環境で大変だったことと思います。この経験は何らかの形で将来の糧となるはずで。</p> <p>この授業については、私の大学とのやり取りのミスで、オンデマンド+双方向を想定していましたが、結果的に、オンデマンドのみとなり、受講生には迷惑をかけて申し訳ありませんでした。オンデマンドのみという授業形態でしたが、大学の授業では、将来のために、考える力が必要となります。その意味においては、対面や双方向よりオンデマンドの方が身に着きます。また、質問については、通常だと、教員に直接もしくは一緒に受講しているご友人にできるため容易に解決できます。しかし、この授業では、メールやmanabaなど、普段使っているLINEでないため厳しかったかも知れませんが、メールは、社会人になったことを想定すると、実際に使うことが多く、ためになったと思います。</p> <p>グループ学習については、苦手意識を持つ学生さんが、実践女子大学に限らず増えています。特に、友人以外の人とコミュニケーションを取ることに抵抗感を持っている人が多くなっています。このような状況下に加えて、慣れていないメーリングリストといったツールで、班のやり取りをすることは厳しく、心理的負担もあったと思われま。しかしながら、ゼミを除いて、大学であまり行われていないグループ学習は、どのような職業についても役に立ちます。</p> <p>授業資料における説明不足については、全大学で同じことを言われています。優しく丁寧に解説すれば、授業評価と同時に、学生の満足度も上がりますが、学生のためにはならないとの信念を持っています。大学では、受動的ではなく、能動的に勉学に携わってほしい気持ちがあります。それには、少しハードルが高く、それを乗り越える力を備えてほしいと期待しています。</p>

[2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
数学的思考	高橋 桂子, 角本 伸晃, 畑農 鋭矢	講義は高橋・角本・畑農で担当しました。高橋は基礎的分野、角本先生は公務員試験分野、畑農先生は経済学分野です。「問題を自身で作成することによって創作力が身についた」「数学を身近に感じ、意欲的に取り組む姿勢が身についた。」「先生によって扱う分野が異なったため幅広く学ぶことが出来た。」しっかりとついてきてくれた方には収穫の多い授業になったようです。また「動画資料が少なかったのが、先生との交流が少ないように感じられて少々寂しかった」これは次年度改善したいと思います。半期お疲れ様でした。
情報リテラシー実践 a	粟津 俊二, 竹内 光悦	回答を促すのを忘れてしまい、回答者数1でした。またこの科目は今年度で終了し、次年度に改善・修正点が活かせませんので、コメントは控えます（粟津）。  調査系担当の教員としては回答者数1というのは、残念です。どちらにしても今回の MOS に限らず、みなさんの情報リテラシーの向上につながっていればと思います。引き続き、頑張ってください。（竹内）
科学史	松本 俊吉	皆さん半期間の受講お疲れ様でした。全員ともめでたく合格でした。ただし最終的な成績評価は、やはり授業中に積極的に発言・報告してくれた人が概して高くなっています。皆さんにとっては若干苦手な分野だったかも知れませんが、やはり大切なのは未知のことにアタックしようというチャレンジ精神ですね。これからも頑張ってください。
健康運動実習 a	鈴川 清美	コロナ禍において、対面授業を無事に終えられたこと…みなさんの日頃からの感染対策の努力の賜だと思います。よく頑張りました。 本授業では、継続的な運動習慣の動機づけの一助となることを目的としていました。授業では、友だちと一緒に身体を動かすことの楽しさ、身体を動かすことの心地よさなど体感してもらえたかな…と思っています。 引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染対策をとりつつ、身体を動かす機会を是非、持ち続けて欲しいと思います。 また、心身ともに疲れたとき、悩んだときこそ、歩いてみてくださいね！
Global Studies d	清田 夏代	今年度はzoomによる双方向授業で授業を実施した。昨年度は授業のペースが早過ぎたため、今年度は学生の理解度に合わせて要点については繰り返し、ゆっくり進めた。また、日本人学生のための履修であったため、込み入った点は日本語で説明するなどした。次年度は、留学生が履修する場合に備えて英語でも理解できるような説明の仕方を工夫する必要がある。また、今年度zoom授業のために提示資料を充実させたが、これについては対面授業においても活用していきたい。
フランス語 2 b	岡本 尚子	前期に引き続き後期もオンデマンドを中心とした授業を行いました。今学期はこれに加えて月1回発音練習の時間を設けましたが、皆さんおおむね積極的に参加していて、スムーズに授業を進めることができました。後期に入って複雑な文法事項が出てきて苦戦している人も多かったですが、繰り返し取り組むことでだんだん理解できるようになるので、ぜひ今後も勉強を続けていただきたいと思います。学習したことをもとに、今後ぜひ資格試験などにも積極的に挑戦してみてください。
グローバル・キャリアデザイン	深澤 晶久	色々と制約条件が多い中、極めて真摯に取り組んで下さった姿勢に心から感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響で社会も大きく変わりました。これからの時代、そうした変化にいかんして対応していくことが出来るか、社会で最も求められる力なのかも知れません。この授業に登壇いただいた方は、いつもおっしゃいます。「実践の学生さんは素直であらゆるものを吸収する力に秀でている」いつも何かを学びご自身を成長させようとしている皆さんの姿には感動しています。いよいよ就職活動に向けて、佳境を迎える学生さんも多いと思います。サポートいたしますので、いつでもご連絡下さい。コロナが落ち着いたら、渋谷キャンパスでお目にかかれることを楽しみにしています。研究室が1309に移動しました。お気軽にお立ち寄りください。
健康体力科学演習	島崎 あかね	運動によって、自分の身体がどのように変化するのかについて、運動・トレーニングの体験を通して理解してもらえたと思います。ウォーキングやリズム運動、ストレッチなど継続的に実施することで効果が実感できるものが多いので、ぜひ日常生活に取り入れて健康的な生活を送るようにしましょう。

[2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
身体運動の科学 b	鈴川 清美	<p>本授業では、 ①身体活動と健康について正しく理解し、各ライフステージにおける身体活動・運動の意味について考えること ②健康的な生活習慣の確立、継続的な運動習慣の動機づけを図ることを目的にしてお話をしました。 最後のレポートでは、3日間の運動の実践にもチャレンジしてもらいました。継続するための工夫として次のようなものがありました。 『音楽を聴きながら行う』『携帯アプリを使う』『目標をたてる』『無理のないメニュー』『日々の活動に付随させる（お風呂の後など）』『記録をする』『誰かと一緒に行く（別の場所であっても時間を同じにして）』『達成感→自信→継続につながるような工夫』…など。 行動変容のステージを今より一つでも前に進められるように、みなさんから挙がったアイデアを是非参考にしてみてくださいね！ 自分の身体や健康（特に身体を動かすこと）に興味を持ち、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策をとりつつ、活動的な生活を送って欲しいと思います。</p>
情報リテラシー応用 b	笠原 邦子	<p>開始前は「応用」で細かい作業も多いので「オンデマンドでできるのか？」という疑問があったのは確かです。みなさんの努力と真摯な姿勢で無事授業を終えることができたと思っています。 双方向を希望する声が無かった（zoomミーティングの参加者は少なかった）のですが、アンケートを見ると半数近い学生は双方向が望ましいと答えているようです。対面（双方向）もオンデマンドもそれぞれに良い点があると思いますが、manabaの機能を使うことによりオンデマンドでも細かい指導ができるのを実感しました。 情報リテラシー基礎に比べ、Excelの機能をたくさん使ったので難しいと思った学生もいたようですが、授業が進むにつれて提出物の完成度が上がり、みなさんがスキルアップしているのが分かりました。 在学中はもちろん、社会に出てワード、エクセルやパワーポイントを使う機会は多いので、この授業で習得した技術を活かし、活躍することを祈っています。</p>
Extensive Reading	中山 誠一	<p>コロナ禍ということで、対面授業が叶わなかったにもかかわらず、履修いただいた学生の皆様のご協力により、なんとか最後まで授業を進めることができました。まずはご協力に感謝申し上げます。今後はご指摘いただいた点を踏まえて、授業改善に取り組みたいと思います。</p>
Extensive Reading	リアン, リッキー・チ・ヤン	<p>Dear Students, thanks for your feedback. It was a difficult semester due to the pandemic and online classes are not the easiest to do/take! I will take your advice and try to make improvements for the upcoming academic year.</p>
Effective Speaking	中山 誠一	<p>コロナ禍ということで、対面授業が叶わなかったにもかかわらず、履修いただいた学生の皆様のご協力により、なんとか最後まで授業を進めることができました。まずはご協力に感謝申し上げます。今後はご指摘いただいた点を踏まえて、授業改善に取り組みたいと思います。</p>
スポーツ応用科学実習	佐藤 健	<p>実技できましたね。来年も土曜日にやります。</p>
Integrated English a	安山 秀盛	<p>授業への総合的な満足度では（「あてはまる」と「どちらかというあてはまる」を含めて）ほぼ全員が「満足している」という回答であった点ではほっとしている。また、Q12の自由記述欄のコメントの中では、「英語プレゼンのやり方が身についた」「毎回の原稿作成やポスター作成に丁寧に納得いくまで丁寧に取り組んだ」などの肯定的な意見があった点は良かったと思う。一方で、個別にみると、「授業をどれくらい理解できたか」という項目では、中程度の理解であったことを示す回答者も一定数存在した。このことは、提出課題に対するさらに細かいフィードバックや迅速な質問への応答の必要性を示しているかもしれない。 この点を念頭において、次学期の授業運営に生かしていきたい。</p>
Integrated English b	ブラック, ヨーガン	<p>Thank you for your feedback to the survey questions. I will try to improve upon the areas reported in the survey results by working on the weak points and expanding on the strong points.</p>



[2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
実践キャリアプランニング	深澤 晶久	色々と制約条件が多い中、極めて真摯に取り組んで下さった姿勢に心から感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響で社会も大きく変わりました。これからの時代、そうした変化にいかに対応していくことが出来るか、社会で最も求められる力なのかも知れません。授業に登壇いただいた先輩の姿は本当にまぶしいくらいでした。さすが英文学科でした。また、いつでもご連絡下さい。就職活動に向けて、サポートの出来ることがあれば、可能な限りのお手伝いをいたします。コロナが落ち着き、渋谷キャンパスの授業でお目にかかれることも楽しみにしています。研究室にもお気軽にお立ち寄り下さい。(1309研究室です。)どうかお体に気を付けてお過ごしください。
Integrated English a	安山 秀盛	Q12の自由記述欄のコメントの中では、「英文スピーチの発表力が身についた」「レポートを作成する力が身についた」などの意見があった点は良かったと思う。一方で、個別にみると、「説明はわかりやすかったか」という項目では、「どちらかというとわかりにくかったと答えた履修者が2名いた点は大いに反省したい点である。毎回の授業資料で提出課題のやり方については読む側にとって平易な表現したり、質問に対しては出来る限り迅速に答えるようしたりと努めたつもりであるが、中には質問をちゅうちょし理解不十分なまま課題に取り組み始め、不安な思いをした履修生もいたかもしれない。来学期に向けて、さらに授業資料の表現などを読み直し、履修生が課題に向けて何をやればよいのかを明確に提示できる授業にしていこうようにしたい。
Integrated English b	リアン, リッキー・チ・ヤン	Dear Students, thanks for your feedback. It was a difficult semester due to the pandemic and online classes are not the easiest to do/take! I will take your advice and try to make improvements for the upcoming academic year.
Integrated English b	リアン, リッキー・チ・ヤン	Dear Students, thanks for your feedback. It was a difficult semester due to the pandemic and online classes are not the easiest to do/take! I will take your advice and try to make improvements for the upcoming academic year.
実践キャリアプランニング	深澤 晶久	色々と制約条件が多い中、極めて真摯に取り組んで下さった姿勢に心から感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響で社会も大きく変わりました。これからの時代、そうした変化にいかに対応していくことが出来るか、社会で最も求められる力なのかも知れません。授業に登壇いただいた先輩の姿は本当にまぶしいくらいでした。さすが美美でした。また、いつでもご連絡下さい。就職活動に向けて、サポートの出来ることがあれば、可能な限りのお手伝いをいたします。コロナが落ち着き、渋谷キャンパスの授業でお目にかかれることも楽しみにしています。研究室にもお気軽にお立ち寄り下さい。(1309研究室です。)どうかお体に気を付けてお過ごしください。
Integrated English a	中山 誠一	コロナ禍ということで、対面授業が叶わなかったにもかかわらず、履修いただいた学生の皆さんのご協力により、なんとか最後まで授業を進めることができました。まずはご協力に感謝申し上げます。今後はご指摘いただいた点を踏まえて、授業改善に取り組みたいと思います。
Integrated English b	リアン, リッキー・チ・ヤン	Dear Students, thanks for your feedback. It was a difficult semester due to the pandemic and online classes are not the easiest to do/take! I will take your advice and try to make improvements for the upcoming academic year.
Integrated English a	中山 誠一	コロナ禍ということで、対面授業が叶わなかったにもかかわらず、履修いただいた学生の皆さんのご協力により、なんとか最後まで授業を進めることができました。まずはご協力に感謝申し上げます。今後はご指摘いただいた点を踏まえて、授業改善に取り組みたいと思います。
Integrated English b	リアン, リッキー・チ・ヤン	Dear Students, thanks for your feedback. It was a difficult semester due to the pandemic and online classes are not the easiest to do/take! I will take your advice and try to make improvements for the upcoming academic year.
実践キャリアプランニング	深澤 晶久	色々と制約条件が多い中、極めて真摯に取り組んで下さった姿勢に心から感謝申し上げます。新型コロナウイルスの影響で社会も大きく変わりました。これからの時代、そうした変化にいかに対応していくことが出来るか、社会で最も求められる力なのかも知れません。授業に登壇いただいた先輩の姿は本当にまぶしいくらいでした。さすが現代生活学科でした。また、いつでもご連絡下さい。就職活動に向けて、サポートの出来ることがあれば、可能な限りのお手伝いをいたします。コロナが落ち着き、渋谷キャンパスの授業でお目にかかれることも楽しみにしています。研究室にもお気軽にお立ち寄り下さい。(1309研究室です。)どうかお体に気を付けてお過ごしください。

## [2020（後期）大学共通科目] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Integrated English b	ブラック, ヨーガン	Thank you for your feedback to the survey questions. I will try to improve upon the areas reported in the survey results and make an effort to modernize my teaching as much as possible.
Integrated English b	ブラック, ヨーガン	Thank you for your feedback to the survey questions. I will try to improve upon the areas reported in the survey results and make an effort to modernize my teaching as much as possible.